



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2009年（平成21年）3月5日号 No. 1456

目次

■ 2008年のロシアの貿易と外国投資受入	1
■ 統計速報	8
2009年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／8	
日本の対ロシア月別輸出入通関実績／9	
■ トピックス	10
ポーラがロシア事業を拡大／10	
三菱ふそうがカザフなど3カ国に新規参入／10	

2008年のロシアの貿易と外国投資受入

はじめに

ロシア連邦国家統計局が、2008年のロシアの貿易および外国投資受入状況の統計を発表したので、今回の速報では早速これらのデータを整理して紹介することにする。

ロシアの貿易統計には大別して2種類がある。①国際収支ベースのものと、②通関統計ベースのものだ。マクロ経済的な分析を行ううえでは前者の方が有益だが、商品別や相手国別の中身を知ることができるのは后者である。以下では、表1のみ国際収支となっており、表2以下はすべて通関統計である。なお、表4および表5のみ出典がロシア連邦関税局となっており、ロシアとベラルーシが関税同盟を結成している関係で、表4および表5はベラルーシとの取引を含んでいないので、ご注意いただきたい。

表1の国際収支ベースの統計によれば、2008年にもロシアの貿易はダイナミックな発展を遂げ、輸出は4,718億ドル（前年比33.1%増）、輸入は2,920億ドル（前年比30.6%増）、収支は1,798億ドルの黒字という結果に終わった。だが、好調だったのは第3四半期までであり、第4四半期には世界金融・経済危機の影響を受け、貿易も急激に縮小に向かっている。

表8の外国投資受入状況でも、変調が見て取れる。2008年のロシアの外国投資受入総額は、前年比14.2%減の、1,038億ドルにとどまった。受入額が縮小したのは、9年振りのことである。ただ、久しぶりに日本が投資国としてベスト10に顔を出したのは、朗報かもしれない。

今回の速報では概況をお伝えするにとどめるが、当会『調査月報』では例年どおり、準備ができ次第、ロシアの貿易および外国投資の詳細な統計と解説を掲載する予定である。